

学科の3つのポリシー

看護学科（昼間部 3 年制）

ディプロマポリシー

看護学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、専門的知識と技術、倫理観を基盤に、社会において幅広く貢献できる看護専門職を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 生命の尊厳と人格を尊重する高い倫理観を身につけ、多様な価値観を受け入れ、生活者としての人間を理解する基礎的能力を有している。
2. 看護実践に必要な科学的思考や看護の基本的技術を身につけ、人間関係を基盤として、健康上の課題を解決する基礎的能力を有している。
3. 変化する社会情勢に応じて、保健・医療・福祉チームの一員として、連携・協働的に看護の役割を果たすための基礎的能力を有している。
4. 専門職者として自己の能力を評価し、自己成長していける基盤を身につけている。
5. 専門職者として、社会的活動や国際的な視野にたって幅広く活動できる基礎的能力を有している。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するため充実したカリキュラムを構築している。

1. 学力の3要素を念頭に置き身に付けるべき資質・能力を段階的に育成するカリキュラム構成。
2. あらゆる健康レベルに対応する看護の知識・技術など専門性を身につけることが出来るための順序性と系統性ある授業配列。
3. 学生が主体的にキャリア能力を持続的継続的に育成し続ける学習力形成のために必要な教育方法の導入。
4. 豊かな人間性と社会的マナーを身につけられるよう仲間や他学科との交流の機会を多く持つ。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として行動できる能力（リーダーシップ・メンバーシップ）を育成するための協働学習の場を多く取り入れる。

アドミッションポリシー

看護学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい医療人として活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 命の大切さや多様な価値観を受け入れることのできる人
2. 科学的な探究心と豊かな創造力をもてる人
3. 地域の保健医療福祉に貢献したいという気持ちがある人
4. 自らが主体的に学ぶ姿勢で、課題に取り組むことができる人
5. 社会性や協調性のある行動がとれる人

柔道整復スポーツトレーナー学科（昼間部 3 年制）

ディプロマポリシー

柔道整復スポーツトレーナー学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、医療人としての倫理観と他者理解が高く、知識と技術を兼ね備え業界において活躍できる人材を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 日々進歩する医学的知識、スポーツトレーナーの知識を学ぶ心構えをもち、地域・業界の発展のために臨床家として貢献できる素養を身につけている。
2. 医療人としての自覚を持ち、保健・福祉従事者など他職種と積極的にコミュニケーションをとり、主体性をもち行動できる。
3. 選手や患者にわかりやすくて確かな指導ができるコミュニケーションやプレゼンテーション能力を身につけている。
4. 自分の職域以外にも興味を持ち、さまざまな分野とコラボレーションして新しい企画・運営ができる能力を身につけている。
5. 専門職者として、主体性を発揮し、自己成長し続ける基盤が身につけている。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するため充実したカリキュラムを構築している。

1. 基礎から専門、応用へ段階的に知識・技術を習得に合わせ、段階的に資格を取得し、最終的に国家試験合格を目指す。
2. 豊富な現場実習により臨床力技術を構築し、またプロの職業人としての身構え・気構え・心構えを育む。
3. 柔道整復師の知識や技能のみならず、スポーツ系の知識や技能と資格を修得できる。
4. 研究発表を通じて自ら調べ、考える力を身につける。
5. 海外研修によりグローバルな視点と人体構造知識の修得と医療人としての心構えと倫理観を育む。

アドミッションポリシー

柔道整復スポーツトレーナー学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい医療人・スポーツトレーナーとして活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 挨拶を基本とし、素直に人としてコミュニケーションをとることが出来る人。
2. 自らを過信せず、さまざまなことに興味・関心を示しチャレンジが出来る人。
3. 将来の夢や目標を明確に持ち、達成のため主体的に努力が出来る人。
4. 規則正しい生活習慣を軸にして、自分から健康に対して考え、取り組むことが出来る人。
5. 健康スポーツ領域で地域社会に積極的に活動できる人。

介護福祉学科（昼間部 2 年制）

ディプロマポリシー

介護福祉学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、これからの福祉業界を担う職業人として貢献できる福祉人材を育成するため、以下の教育的目的を掲げている。

1. 利用者の立場になって物事を考え、尊厳・自立支援を支えるケアの実践ができる。
2. 介護福祉における幅広い必要な知識・技術を養い、社会で活躍することができる。
3. 幅広い対象者に応じたコミュニケーションやプレゼンテーションを実践することができる。
4. 保健・医療従事者など他職種とチームとして協調して連携し、問題解決することができる。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するため充実したカリキュラムを構築している。

1. 福祉従事者として基本的なマナー（文章能力・接遇・立ち居・振る舞いなど）を習得できる。
2. 誰からも信頼される人間性を身につけ、他者に共感し相手の立場になって考え行動できるようになる。
3. 地域活動や学校行事を通じて、円滑なコミュニケーションの図り方の基本を学び、チームワークを大切にし協調性を身につけることができる。
4. 医療的な側面から介護を学ぶことにより、利用者の安心・安全な生活を理解することが出来る。

アドミッションポリシー

介護福祉学科のディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましい福祉従事者として活躍してもらうため、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 介護や福祉に強い関心を持ちその分野において、地域に貢献したいという意欲を持っている。
2. 人に興味・関心を持ち、人と関わるのが好きで仲間を大切にできる。
3. 身体を動かすのが好きで、自己管理がしっかり出来、健康的に過ごせる。
4. 明るく前向きで苦手な分野にも挑戦し、何事にもコツコツと取り組み努力することができる。

日本語学科（昼間部 1.5 年制）

ディプロマポリシー

本学科では、「建学の理念」と「4つの信頼」に基づき、以下の教育的目的を掲げている。

1. 日本語に興味と関心があり、初歩的な日本語を理解している。
2. 将来日本の医療福祉系専門学校への進学を目指し、目的意識を持って取り組むことができる。
3. 日本、日本の文化に強い関心を持ち、異なった文化、社会、価値観を持つ人々を理解しようとすることができる。
4. 人が好きで、医療福祉の仕事に興味関心があり、他者への奉仕や貢献するところを有している。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた目的を達成するため充実したカリキュラムを構築している。

1. 日常生活及び卒業後に必要となる日本語の言語知識を身につけ、既習の知識を十分に運用しながら四技能の活動を行ない、それらをバランスよく身につける。
2. 医療福祉を学ぶ上で必要となる基本的な用語と表現、日本の社会保障制度の概要を理解する。
3. 日本語で論理的に考え表現する方法及び相手や場面にあわせて適切に表現を使い分ける力を養う。
4. 日本の規範文化を理解し、周りの人と協力しながら課題を遂行し、解決しようとする態度を養う。
5. 自国と他国の両方の考え方、価値観を知り、その違いを受け止め、相互理解に努めようとする態度を養う。
6. 全ての教育活動を通じて、自立・自律できるように、日本の生活に慣れ、日本を中心とした異文化への理解と適応する力を養う。

アドミッションポリシー

本学科では、ディプロマポリシーに掲げた教育目的に望ましく、これら教育に共感できる人物像を求めている。

1. 日本語という言語についての理解、日本、日本の文化、日本人の考え方について理解している。
2. 日本のルールやマナーを理解し、実践するために必要な忍耐力と社会的規範意識が身についている。
3. 日常生活及び進学後の学業において必要な日本語の言語知識及び日本語コミュニケーションのための運用能力を身につけ、かつ待遇表現を理解している。
4. 日本を中心とした異文化への理解と多様性を尊重しようとする態度及び多様な人々と協働して取り組む態度が身についている。